

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	日本事情 I B	
科目基礎情報							
科目番号	0058			科目区分	一般 / 必修 (留学生)		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	環境都市工学科			対象学年	3		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材							
担当教員	鈴木 道治						
到達目標							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
日本語で書かれた数学の教科書の読解		題意の詳細を読み取ることができる。		内容を6割程度把握できる。		語句を読むことができる。	
数学の問題を日本語で解答する		日本語を使って論理的に解答を構成できる。		9割程度日本語で、残りは英語で解答できる。		解答できるが、日本語の割合が半分以下である。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日常的な日本語、数学に特有な日本語を学ぶ。日本語で書かれた数学の教科書を自力で読解し、日本語で解答できるようになることを目指す。						
授業の進め方・方法	木更津高専で実際に利用している1年から3年までの数学の教科書を用いて、日本語表現の確認を行う。必要に応じて数学の内容の理解度の確認を行う。とくに文章題を中心として、記述式の解答例の作成を指導しながら、数学学習に必要な読解作文能力の向上を目指す。						
注意点	各自が自らの学習状況を客観視して、主体的に学修に取り組むことが必要である。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		授業内容の理解		
		2週	平面のベクトル ベクトルの演算		授業内容の理解		
		3週	ベクトルの成分		授業内容の理解		
		4週	ベクトルの内積		授業内容の理解		
		5週	ベクトルの平行と垂直		授業内容の理解		
		6週	ベクトルの図形への応用		授業内容の理解		
		7週	直線のベクトル方程式		授業内容の理解		
		8週	平面のベクトルの線形独立・線形従属		授業内容の理解		
	4thQ	9週	空間のベクトル ベクトルの成分		授業内容の理解		
		10週	ベクトルの内積		授業内容の理解		
		11週	直線の方程式		授業内容の理解		
		12週	平面の方程式		授業内容の理解		
		13週	球の方程式		授業内容の理解		
		14週	空間のベクトルの線形独立・線形従属		授業内容の理解		
		15週	総復習		授業内容の理解		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	宿題	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	100	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0